

せいしょう 青翔

第232号

◆ 青年部ニュース ◆ 発行 北大阪商工会議所 青年部 提言委員会

<http://kitaosaka-yeg.jp/>

青

翔

青

翔

続、士業さん座談会

前回の士業さん座談会第1弾の続きをお送りいたします！前回は士業さんってどんなお仕事をしていたらっしゃるのかをお話してもらいました。今回もさらに士業さんのお仕事について深掘りしていきたいと思います！

稲田宣稚提言委員長(以下：稲)：(行政書士さんと)同じように税理士さんも得意分野であるのですか？

谷さん(以下：谷)：資産税、相続税に強い方もいらっしゃいますし、医療法人が強いとか特化しているところも最近多いですね。専門性もこれから生き残る重要なカギだと思います。ちなみに僕は、ゼロからのスタートだったので、なんでもかんでも飛びついていかないと生活していけなかった(笑)来るものは、拒まずって感じですね(汗)

中島育都子副委員長(以下：中)：中でも楽しかった仕事などは？
谷：やはり不動産鑑定士と税理士で仕事をさせてもらっていますので不動産関係ですかね。あと資産家さんの相続対策とか、法人を設立する事で、長期的に節税に繋がるプランを作ったりとか、そういうロードマップ的なものを構築していくのが好きですね。似合わないと思いますけど(笑)

奥村さん(以下：奥)：ほとんどの税理士が法人税・所得税メインなので、専門性は必要ですが業種に特化の必要はあまりなくて、さらに業種に関係なく色々な話が聞けてその結果、顧客同士を紹介した事もあります。そういうところが面白いと思っています。以上です(笑)

伊藤さん(以下：伊)：私は行政書士になったときから建設業のサポート、営業許可、公共工事のための手続きをしていますけど、今PRしたいのは外国人雇用。特定技能という制度が四月から始まって、今まで外国人さんは専門性のある業務しかできなかったのですが幅が広がって、例えばホテルなどの観光産業が特定技能の資格で働ける可能性が広がり、これからの日本は必ず外国人さんの労働力に頼らざるを得ない時代が来てしまっているの、そういったご相談に対応できるというのが強みですね。「この方を日本に招聘したい」とか、決まった方に対しての手続き業務を行います。**中：**来日した後のトラブルとかにも対処したりするのですか？
伊：来日して日本人と結婚、離婚した場合や転職した際のビザはどうなるの？とか永住希望の方。あと企業さんがよくよく考えずに安易に外国人さんを受け入れてしまっただけで実は法令違反になってしまっているケースなどがあります。外国人さんを採用するにあたって、まずは相談してほしいなと思っています。

北川弥生副委員長(←ずっと居たのにここでやっと登場以下：北)：その相談はアルバイト、社員関係なしにですか？
伊：社員として就労資格を認められ

るかとか、アルバイトさんでも週28時間(学生)という縛りがあるので、そこを超えてしまうと、企業名の公表とかに繋がってしまう可能性もあるので注意しないといけません。そういう事でせいかくの看板を汚してしまう事になり、その外国人さんも日本に居られなくなってしまったりするので、お互いのためにまずは相談って事ですね。**北：**基本的な質問なのですが、公認会計士さんと税理士さんってどう違うのですか？

平松さん(以下：平)：国から許されている業務が違います。公認会計士は「監査」が許されていて、税理士は「税務代理」が許されているという事です。監査とは会社が作った決算書が正しいですよと証明する仕事を担っています。税務代理は経営者自身でもできる税務申告なのですが、税理士にしか代理できない仕事で、無資格者がすると罰せられます。両方とも決算書に基づいて行う仕事なのですがどちょっと違うという感じです。**谷：**独占的にできる仕事というのが士業ごとに分かれていて、その各業務の範囲を業際と言うのですが、その業際でどこまでできるかとかでトラブルになったりすることもあります。業際が重なる業務もあるので。僕は仲良くやっていますよ。社会福祉法人の会計業務とか、懇意にしている会計士に振っていますし(笑)

稲：雇用部分に関しては社労士さんがして、お金に関しては税理士さんとかでは？
谷：そこでもまた社労士さんとの境界とかが曖昧で。僕は仲良くやっていますよ。懇意にしている社労士さんに振っていますし(笑)
伊：税理士資格あれば登録すれば行政書士業務できたり、昔は行政書士で社労士業務できたりとか。**北：**絶対できへんわ、そんな仕事。**平：**最近

は逆に餅は餅屋で、横の業をやると責任もとれないし、専門の士業さんをお願いしていますね。信頼できる方と仕事をしていかないと、って。**伊：**業際もちょこちょこ変化していて、正直この業務は誰が専門なの？となる時もあります。そこで、提携って形のネットワークを作って、お客さんには「まず相談してください、然るべき資格者の所へ繋がります」と。そのために日夜士業の横の繋がりを…それが、私がYEGに入った1つの理由ですね。**中：**さすが伊藤さん。記事に使われるポイント押さえていますね！(笑)
平：僕も。**奥：**じゃあ僕もそれで(笑)
稲：そもそもそういう目的(ネットワーク構築)でYEGに入って来られました？
谷：はっきりした目的はなかったのですが、結果として士業に限らず、人脈

形成に繋がる凄いメンバーがいっぱいでしたね(半笑)
稲：なるほど(笑)では、YEGに入ってビジネスとして繋がったキッカケは何かありますか？
谷：YEGメンバーさんのお付き合いは採算性というより、経験値を高めさせてもらっています…(一同爆笑)
中：懇親会以降の話ですよ？(笑)
平：プラスな面は？
谷：責任感が上がる、精神的に鍛えられる、末永くお付き合いができる、プライスレスなお付き合いができる、夜のお付き合いが多い、YEGのゴシップ話が聞ける、ちょっとやばそうなお客様を紹介していただける(笑)
中：まあまあ言いますね(笑)行政書士さんはどうですか？
伊：さっきの質問(ビジネスとして繋がったキッカケ)に対しての私なりの答えなのですが、入会して(会に)来なかったら仕事には繋がらないじゃないですか。じゃあどうするのが繋がるのか。理事をさせてもらいましたが、じゃあ理事までしないとイケないとかではなくて、何か1つ委員会の事業を一生懸命やって乗り越えた人ほど信頼関係とかが生まれて、仕事の相談とかをしてもらえるのかなと。
谷：それが言いたかったのです(笑)
奥：じゃあ僕も(笑)
平：僕の場合、入ってからずっと頑張っていたのですけど3年目で1件いただけ。最近ちょろちょろと。
中：転機は？
平：副委員長…を受けてですかね？誰かが僕を仕事関係で推してくれたり。直接YEGのメンバーがお客さんになるというだけではなく、YEGのメンバーのお客さんを僕が見させてもらったり。ありがたかったですね。あとYEG入って良かったのが、税理士に対する経営者さんの悪口を横から聞けるっていう。「うちの税理士何もしてくれへん」とか。そういうのを聞いて身につまされますね。
谷：あとやっぱON・OFFの使い分けが大事な。伊：そうそう。確かに昼に谷さん電話したらめっちゃ真面目でクスリとも笑われへん(一同爆笑)
谷：いやいやひどいな！そら真面目ですよ、お昼は。まあ、纏めるとYEGは信頼関係を構築するツールって感じでしょうか
奥：僕はあまり仕事どうこうというより、出身



の枚方が好きだして感じで入ったので気楽にやっています。例会とかに出て、講師の話聞くことがすごく自分のプラスになっていますね。あと平松さんが仰ったように色々な業種の経営者さんの話聞くことで話のネタが増えますね。それでお客さんに知ったかぶりかましたり(笑)
北：じゃあ税理士あるあるとかありますか？
谷：税理士は顧問契約って形態がね、なんかこう自由な雰囲気を生み出しているのかなって思うのですよ。僕はまったくもって自転車操業ですけどね。お客様の中には、顧問料の引き落としの日に「今日は、チャリーンの日やな」みたいな嫌事も(笑)
伊：でもね、本当にこの(税理士)頭の中が資産なんですね。いざという時の備えですね。
平：報酬月額いくらくらいなのですか？
谷：いや、うちは全然…YEGメンバーのご希望価格でやらせていただいておりますので。悪しき慣習を作ってしまったなと(笑)
稲：YEGに入ってからこのメリットが(笑)
伊：(いまここに)集まったメンバーが悪い(笑)
稲：いえいえ、ここまで色々聞かせていただいてありがとうございます。

……徐々にくだけていった座談会は写真を撮ってお開きとさせていただきます！最後に委員長から一言…

稲田委員長：やはり様々な業種に対応されている士業の方々お揃いで非常に楽しいお話を聞かせていただきました。また機会があれば第2弾も企画することも知れませんが、その際は是非多くのご参加をお待ち申し上げます。

北大阪商工会議所 青年部

会員募集

商工会議所青年部 [YEG] は
次代の地域経済を担う
若手経営者の集まりです。

ご興味のある方は
こちらへ